

## 重伝建を考える会

広島県呉市

### 【活動概要・効果】

#### ☆「ちょっと感じのいい町」づくり

○地区内の各種団体と連携した清掃美化活動や、会の女性部を中心に玄関先や格子窓を花で飾る「すだれに竹の一輪挿し」活動、住民一人一人が地区を訪れる方々に道案内や簡単な名所の説明ができるよう「町民みなガイド」を目標に地域の歴史勉強会やボランティアガイドの育成などの活動を行っている。

☆「すだれに竹の一輪挿し」活動は、四季折々の生花を一年中飾り、景観美化向上を推進しているだけでなく、取り組みに賛同し一輪挿しを飾る家屋は日増しに増えており、地域ぐるみの活動として定着している。

☆ボランティアガイドも来訪者との交流や先進地視察を継続して行っており、地域に根ざした活動として定着し、観光客増加につながり、活性化が図られている。



玄関先を飾る「すだれに竹の一輪挿し」活動

#### 《人員確保での工夫・苦労》

会員の高齢化が進み、若い世代の人たちも地域の消防団やPTA等の活動がそれぞれに忙しく、なかなか新規入会が難しい中で、「すだれに竹の一輪挿し」活動、理事会への参画、先進地視察研修等において女性の積極的な参加が見られる。これからは女性が中核となり、町づくりを進めていくのではないかとこの予感がある。地域と生活に密着し、かつ来訪者へ気配りができる「ちょっと感じのいい町」づくりという当会の活動には女性は欠かせない存在となっている。

#### 《活動資金確保での工夫・苦労》

会報「重伝建だより」の発行や地域の「歴史勉強会」また「地域美化活動」等は資金的な問題はないが、アニバーサリー・イベント等では大きな資金を必要とするので、当会単独ではなく地区の自治会、女性会、老人会等との共催で、各組織が少しずつ資金を出し合ってきた。このことは、資金の面だけではなく、参加人員の広がりをもたらし、住民の参加意識の高揚にも繋がっている。

#### 【現場の声】

年間の活動や特別なイベントをするにあたり、一般会員と役員との間の意識のズレを指摘されることがあるが、「重伝建だより」という会報を年間5回程度発行し、事業目的を周知するように努めている。また、島外会員（約160人）は、事業や活動に参加しにくいので、島外会員たちも参加できる活動を模索している。また、会員の高齢化にどう対処していくかも今後の課題である。しかし、軒下の「すだれに竹の一輪挿し」活動や「町民みなガイド」運動による、来訪者に対するもてなしの心が深化している点と、それらの活動を通してわが町に対する誇りも島内外会員ともに深まっているように感じられる。

～重伝建を考える会

会長 木村 元雄さん



「ボランティアガイド」活動